



Noh masks
handed down
at shrines in
Ishikawa
Prefecture



神社に伝わる石川の能面

金沢能楽美術館企画展

石川の能面 神社に伝わる

Noh masks
handed down
at shrines in
Ishikawa
Prefecture



能楽、古くは猿楽と呼ばれた芸能は寺社仏閣において祈りの儀式であるとともに集った人々の心を満たす娯楽でした。権力者による庇護のもと鎌倉から戦国時代にかけて洗練された能楽は、江戸時代に武家の式楽（公式行事）として認定され最盛期を迎えます。徳川将軍をはじめとした外交の末な手段として各藩が能楽を隆盛させました。加賀藩では五代藩主の前田綱紀が能楽、なかでも宝生流を愛好し、その稽古相手を務めるために藩が抱える御織工所の工芸職人や町人へも推奨したことから、藩全体に能楽が浸透します。加賀宝生と呼ばれるまでに育った愛好魂は、明治維新で権力者の庇護を失いながらも、現在まで加賀の地に根付きました。

この度は加賀藩前田家が尾山神社へ奉納した能面、大聖寺藩前田家より江沼神社へ伝わった能面、大聖寺藩前田家も信仰した菅生石部神社の能面、また前田家ゆかりの能装束もあわせて展示いたします。時代を重ね、深みを増した美しさを感じていただければ幸いです。

2025 7.25[金]・10.19[日]

しゃうたい 写謡の会

当日の午後に催される定例能（於石川県立能楽堂）について、能楽師の解説の後、宝生流能楽の流麗な文字をぞらします。どうぞお気軽にご参加ください。

日程	曲目	講師(シテ方宝生流)
9月7日(日)	枝慈童・敦盛	佐野 玄宜 師
10月5日(日)	三輪・小袖段我	渡邊 茂人 師

時間 上記日程の10:15～11:15
場所 金沢能楽美術館 3階研修室
料金 各回500円＋観覧料(一般310円)
持物 筆ペン
申込 金沢能楽美術館(TEL 076-220-2790)

かんろう 観能の夕べ プレ講座

今年も石川県立能楽堂で上演される「観能の夕べ」にあわせてプレ講座を開催！金沢能楽会の人気能楽師が、舞台の見どころや物語の背景などを、丁寧に分かりやすくご紹介します。

※6日間分の題目を、2回に分けて解説します。

日程	曲目	講師(シテ方宝生流)
7月26日(土)	藤・小鶴治・高砂	佐野 玄宜 師
8月16日(土)	黒塚・花月・賀々	高橋 康正 師

時間 上記日程の13:00～14:00
場所 金沢能楽美術館 3階研修室
料金 無料(ただし要観覧料)
申込 金沢能楽美術館(TEL 076-220-2790)

第17回現代能面美術展

持通面・師匠面・入道面を一同に展示します。

会期 9月11日(木)～9月21日(日) ※16日(火)は休館
主催 金沢能楽美術館・現代能面美術展実行委員会
場所 金沢能楽美術館 3階研修室
料金 無料(2階展示室は要観覧料)

2025
7.25[金]・10.19[日]

開館時間／午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)
休館日／毎週月曜日(休日の場合はその翌平日)
料金／一般・大学生 310円、65歳以上 210円、高校生以下 無料、団体(20名様以上) 250円
主催／金沢能楽美術館(公財)金沢芸術創造財団
後援／北國新聞社・NHK金沢放送局・MRO北陸放送・テレビ金沢・金沢ケーブル・エフエム石川・ラジオかなざわ・ラジオこまつ・ラジオななこ



Kanazawa Noh Museum
金沢能楽美術館

〒920-0962 金沢市広坂1-2-25 TEL(076)220-2790 FAX(076)220-2791
金沢能楽美術館(金沢市広坂1-2-25)・金沢市立能楽堂(金沢市立能楽堂)・金沢市立能楽堂(金沢市立能楽堂)
https://www.kanazawa-noh-museum.gr.jp

Kanazawa Noh Museum
金沢能楽美術館

〒920-0962 金沢市広坂1-2-25 TEL(076)220-2790 FAX(076)220-2791
https://www.kanazawa-noh-museum.gr.jp

金沢能楽美術館 公式ホームページ https://www.facebook.com/kanazawa.noh.museum

金沢能楽美術館(金沢市広坂1-2-25)・金沢市立能楽堂(金沢市立能楽堂)・金沢市立能楽堂(金沢市立能楽堂)

